

すべてのこどもたちにゆきとどいた教育を

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会ニュース

NO. 3 2016年6月27日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

北海道議会の文教委員会委員長、副委員長と懇談

「ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会」は、えがお署名、教育全国署名の内容を実現させるため、道議会文教委員会の委員長・副委員長と、今年度最初の懇談・要請行動を行いました。参加したのは事務局長の新保（道教組副委員長）、事務局次長の菱木（高教組書記次長）、高教組の佐藤副委員長です。

実を求める意見書」を提出していることが分かりました。

道議会民進党としても、教職員の超過勤務、部活問題にふれた発言をしていることも話していただき、懇談を終えました。

橋本豊行（民進）副委員長と懇談



新保と橋本議員（右）

6月24日、新保・菱木の2名で文教委員会副議長の橋本議員との懇談を行いました。

昨年に続いての懇談で、今年度予定の教育全国署名の内容、超過勤務・部活動改善、道教委の高校配置計画案に対する高教組の声明について説明しました。

橋本議員からは、道議会文教委員会としても文科省に要請行動を行ったこと、その内容についての説明がありました。文科省に提出した文書は、「私学助成の財源措置の充実」「教育予算の確保・拡充」で、私たちの要求と一致することが多いものです。

また、文教委員会が道教委に対して「『新たな高校教に関する指針』の見直しと高校教育の充

大崎誠子（自民）委員長と懇談

6月27日、忙しい道議会の昼休みに新保・佐藤高教組副委員長の2名で、文教委員会委員長の大崎議員との懇談を行いました。

「ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会」として教育全国署名、文科省予算削減、超過勤務・部活動の問題点、高校配置計画の声明について簡単に説明しました。

大崎議員からは、文教委員会の2年目になり、今年で最後になります。耐震化問題で道内の学校を調査する予定、超勤問題では党派を超えて考えなければ、と話されていました。

また、8月に文教委員会として、「文科省の概算要求にかかわり、東京へ要請に行きます」とのことでした。



佐藤高教組副委員長と大崎議員（右）